

---

# イノベーターシップ®養成プログラム（第6期）



2020年6月15日  
株式会社ライフシフト



## イノベーターシップ® 養成プログラム

次世代のグローバルビジネス環境に向かって、  
「理想とする未来を構想し、実現する力」を身につける。

VUCAの時代、いま求められるのは  
単なるリーダーシップからイノベーターシップへ

※「イノベーターシップ」は多摩大学大学院の登録商標です。

# What is Innovatorship?

## 熱い思いと実践知で、 世界の現実を転換する リーダーの力量



## 今なぜ、イノベーターシップなのか？

### リーダーシップを超える「イノベーターシップ」

短期的な利潤の追求を目的としたマネジメントやリーダーシップでは、長期的な顧客の支持を得ることはできません。

次世代のグローバルビジネス環境の中では、自らの視座を持ち、「真善美を目指し、新しい世界を構想して現実を変えていく、これまでのリーダーシップの概念を超える力量」が今求められています。

ご参加の皆様に理想とする未来を構想し、自ら積極的に関与する実践力＝「イノベーターシップ」を身につけていただき、これからのグローバルビジネスを牽引していく人材としてご活躍いただけるよう、本プログラムを開発いたしました。

## ・ マネジメント

- 結果を出すプロセスとデータをきちんと管理し、所定の目標を達成する
- そのために、人・モノ・カネ・情報・関係性を適切にマネジメントする
- 数値や結果だけを追わない
- 組織内外の調整を図り、全体最適、顧客の利益の視点を忘れない

## ・ リーダーシップ

- 進むべき方向のわからない状況の中でも、ぶれないビジョン、戦略を示し、針路を判断する勇氣を持つ
- ビジョンに基づく中期的な視点で、人々を動機づけ、困難な課題解決にチームで取り組む司令塔となる

## ・ イノベーターシップ

- 世界を変えるようなイノベーション、新しい価値を創造したいという熱い思いをもつ
- 世界のためを思うビジョンを描き、そこへ向かって地道な作業をいとわず、試行錯誤から学びながら、知を創造し、事を成す
- その実現へ向けて、リーダーシップを発揮しながら、適切なチームづくりを行い、人々をインスパイアし、育てていく

## 1. 未来構想力 (Future Design)

- 時代を読んで、明るい未来を構想する
- 自分のビジョンを明確に持つ

## 2. 実践知 (Practical Wisdom)

- 多様な経験から学んだ洞察力で新たな世界を模索する
- 自分の経験から学んだ価値観、仕事の流儀を持つ

## 3. 突破力 (Breakthrough Power)

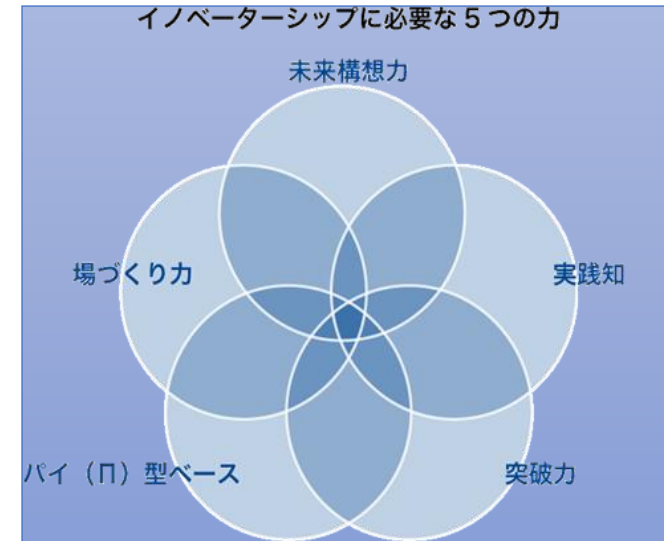
- 難局においてもあきらめずにしつこくやり抜く
- しがらみを突破するアイデアと体力

## 4. パイ型ベース (n-shape Knowledge Base)

- 未来を洞察する幅広い知見・教養を持つ
- 複数の一流の専門分野を持って、知の交差点でアイデアを生み出す

## 5. 場づくり力 (Ba Creation)

- 共感を得る人間力とコミュニケーション
- ネットワークを駆使して柔軟な組織を創り、動機づける



### 本プログラムで得られる「5つの力」

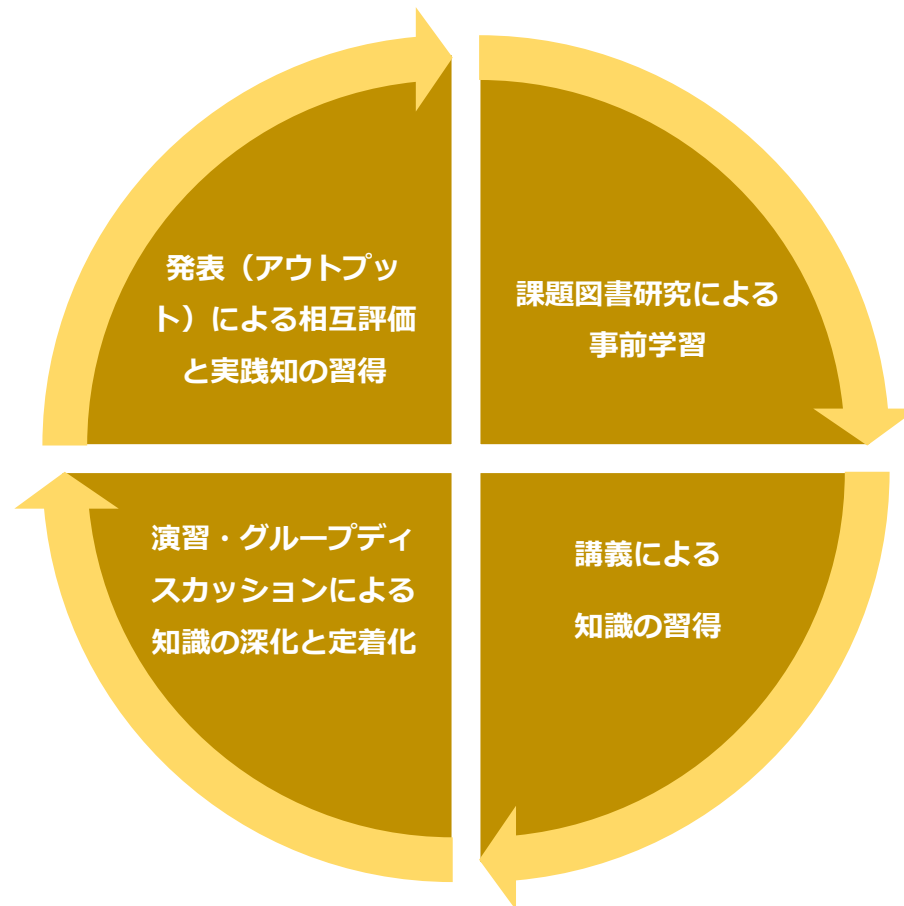
1. 時代を正しく認識し、未来を見据える洞察力
2. ぶれない自らの価値観に基づく高い志
3. ビジネスモデルを創造・変革するイノベーション構想力
4. Unique Value Proposition を生み出す知の編集力
5. チームをワクワクさせ闘う集団を作るコミュニケーション力

## 本プログラムの特徴

### 実践知が身につく構成と、 明確なゴール設定

各セッションは講義、グループディスカッション、グループ発表、演習、課題図書研究など、実践知が身につく参加型の構成内容になっています。また、得られる力を明確に定義し、進捗を確認しながらプログラムを進めることができます。

プログラム終了後には「時代認識の糸口が見えた」「自分の思い、ビジョンを明確にできた」などの成果をお約束します。





## Collaboration



イノベーションを実現する骨太な実践知とマインドを身につける

「一業を担う経営者（社長・事業部長・変革型ミドル）」  
と「一業を起こす起業家（イントラプレナー・アントレプレナー）」を育てる実学志向のビジネススクール

# 1 - 3. 来年度で6期目の開催を迎えます

# 【過去参加企業（抜粋）】

## 会社名 50音順

旭化成株式会社

株式会社オリエンタルランド

花王株式会社

協立情報通信株式会社

株式会社構造計画研究所

参天製薬株式会社

株式会社ジェイテクト

ダイキン工業株式会社

大日本印刷株式会社

田辺三菱製薬株式会社

テルモ株式会社

トヨタ自動車株式会社

株式会社日産フィナンシャルサービス

日清製粉株式会社

株式会社野村総合研究所

富士通株式会社

株式会社マネジメントサービスセンター

マレリ株式会社（旧カルソニックカンセイ株式会社）

ライオン株式会社







## 2. 本講座の流れ

セッション日程	テーマ	講師	イノベーターシップのテーマ
第一回 10月19-20日 (2日)	キックオフ イノベーターシップ グローバル化と組織の変化	佐藤勝彦 徳岡晃一郎 荒金久美	未来構想力 突破力
第二回 11月16日 (1日)	ルール形成戦略 ビジネスモデルキャンバス	國分俊史 河野龍太	未来構想力
第三回 12月予定 (1日)	社会課題への挑戦 NPOの実践者訪問	佐藤勝彦	実践知 突破力
第四回 1月7-8日 (2日)	テクノロジーイノベーション経営の 現在と未来	栗山実	未来構想力
第五回 2月15日 (1日)	公共哲学 オーセンティックリーダーシップと MBB	小林正弥 徳岡晃一郎	パイ型ベース 場づくり力
第六回 3月18-19日 (2日)	リーダーシップコミュニケーション イノベーターシップのまとめ	佐藤勝彦 徳岡晃一郎	場づくり力

事前課題図書	「イノベーターシップ」
毎回のアサインメント	課題図書リストから各自選択し、書評ライティングを行う

## 3 - 1. 講師紹介

	<p><b>徳岡 晃一郎</b> (兼プログラムディレクター) 多摩大学大学院 経営情報研究科長 教授、(株) ライフシフトCEO、一般社団法人知識リーダーシップ総合研究所 所長 日産自動車人事部、欧州日産を経て、1999年よりフライシュマン・ヒラード・ジャパンのSVP/パートナー。また、2006年から多摩大学大学院教授を兼任野中郁次郎名誉教授との共同開発によるMBB(思いのマネジメント)の第一人者。著書に『40代からのライフシフト実践ハンドブック』、『MBB:思いのマネジメント』(野中郁次郎名誉教授、一條和生教授との共著)、『ビジネスモデルイノベーション』(野中名誉教授との共著)、『人工知能×ビッグデータが「人事」を変える』(福原正大氏との共著)、『イノベーターシップ』など多数。東京大学教養学部卒業。</p>
	<p><b>佐藤 勝彦</b> (兼プログラムディレクター) ※ほとんどのセッションでファシリテーションを担当します。 多摩大学大学院特任教授、(株) ライフシフト エグゼクティブコンサルタント、フライシュマン・ヒラード・ジャパンSVP 日産自動車株式会社にて主に組織・人事を担当。米国における現地生産プロジェクト及び米国での現地設計開発会社設立に参画。人事次長を経て、1995年フォードジャパン入社。人事部長、社長、会長を歴任。現在はフライシュマン・ヒラード・ジャパンのシニアバイスプレジデントとして経営者育成、グローバル人材育成、リーダーシップ・コミュニケーション等を担当。国内、海外での講演多数。</p>
	<p><b>國分 俊史</b> 多摩大学大学院 教授 ルール形成戦略研究所所長、パシフィックフォーラム シニアフェロー、EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング Strategy パートナー IT企業の経営企画、シンクタンク、米国系戦略ファームA.T. カーニー プリンシパル、米国系会計ファーム ヴァイスプレジデントパートナーを歴任。社会課題および安全保障経済政策を起点としたルール形成戦略の第一人者として各国の安全保障経済政に翻弄されない企業戦略の立案を支援。また、日本の安全保障政策の研究者の育成と就業機会の創出にまで取り組んでいる。著書に『世界市場で勝つルールメイキング戦略 技術で勝る日本企業がなぜ負けるのか』。</p>
	<p><b>河野 龍太</b> 多摩大学大学院 教授、株式会社インサイトリンク 代表取締役社長 博報堂、博報堂ブランドコンサルティング、ITベンチャー数社の経営参画を経て現職。世界で最も影響力のある経営思想家を選ぶThinkers50 (2015) にも選出されたイノベーション戦略の代表的指導者アレックス・オスターワルダー氏がCEOを務めるStrategyzerの日本人唯一の公認トレーナーとして、国内外企業の戦略プロジェクトや人材トレーニングを多数支援。早稲田大学法学部卒業。英国ウォーリック大学経営大学院でMBA取得。</p>

## 3 - 2. 講師紹介



**栗山 実**

**多摩大学大学院 客員教授、アンテカニス社 代表**

東京大学理学部卒・同大学院修了（理論物理学）、マッキンゼー社勤務などを経て独立、個人事務所アンテカニス社代表。「ビジネス×サイエンス」を標榜し、市場調査や顧客データ分析、戦略策定の指南や講義を行う。その他、IT事業の起業、スタートアップの顧問、非営利事業、学生団体の助言など幅広く手掛ける。



**小林 正弥**

**千葉大学大学院人文社会科学部 教授**

専攻は政治哲学、公共哲学、比較政治。公共哲学・コミュニタリアニズムの研究を通じ、ハーバード大学のマイケル・サンデルと交流をもち、2010年4月～7月に放映されたNHK教育テレビ「ハーバード白熱教室」で解説者を務める。他、共和主義、地球的スピリチュアリティ・環境・福祉、恩顧主義と習合主義、政治的腐敗などを研究テーマとしている。近年では、公共性、対話をキーワードとした実践的な哲学の展開やコミュニタリアニズム研究、ポジティブ心理学の研究に力を注いでいる。



**荒金 久美** ※ゲストスピーカー

**カゴメ株式会社 取締役**

東京大学大学院修了後、株式会社コーセーに入社。研究所にて化粧品の分析・基礎研究・素材開発に携わる。その後、執行役員商品開発部長、執行役員研究所長、取締役品質保証部・購買部・商品デザイン部担当、監査役を歴任。研究所時代には数多くのヒット商品を世の中に送り出し、2005年にはライスパワーエキスNo.11を配合した「モイスチュアスキンリペア」で日経ウーマン主催のウーマン・オブ・ザ・イヤー 2005（ヒットメーカー部門2位、総合8位）を受賞。2020年より現職



## Session1

## イノベーターシップ®で時代を切り拓く

● = 講義中心 ■ = 演習、発表  
 ◆ = グループディスカッション、発表  
 (以下、Session6まで同様。)

担当講師	徳岡 晃一郎 / 佐藤 勝彦 / 荒金 久美 (ゲストスピーカー)	
講座概要	<p>常に変動し、不確実な未来、複雑で捉えきれない現実の中で我々は利益を確保するだけでなく新たな価値創造が求められている。これまでのリーダーシップの概念では時代は切り拓けないのではないか。確かな時代認識とともに現実に流されず、未来を構想できるスケールの大きな“イノベーターシップ”が今求められている。</p> <p>アメリカ、ヨーロッパそしてアジアでダイナミックに“グローバル化”が変貌していく中で自社の抱える課題を知の共創という視点で整理しながら、自らイノベーターとしてどう関わりあっていくのか深堀したい。</p>	
課題図書	『未来を構想し、現実を変えていくイノベーターシップ』 徳岡晃一郎 (著) / 東洋経済新報社	
推薦図書	『世界の知で創る』 野中郁次郎、徳岡晃一郎 (著) / 東洋経済新報社 『第4次産業革命』 クラウス・シュワブ (著) / 日本経済新聞社	
1日目	<b>A M</b> 開講式・オリエンテーション ●イノベーターシップとは何か (徳岡) ◆自己紹介	<b>P M</b> ●ゲスト講演 : イノベーションを実現する力とは ~化粧品開発におけるイノベーションプロセスの 視点から~ (荒金氏) ◆イノベーターシップ 自職場課題から考える <初回終了後懇親会を予定しています>
2日目	●経営のグローバル化再考 (佐藤) ■我が社 (部門) のグローバル化の現状と課題	◆我が社 (部門) のグローバル化の現状と課題 (佐藤) ■本研修で何を学ぶか? どう学ぶか? ■発表: ラーニングステートメント

## Session2

### 未来を切り開く視点：「ルール形成戦略」と「ビジネスモデルキャンバス」

担当講師	國分俊史 / 河野龍太		
講座概要	<p>1. イノベーションは製品や技術の革新にとどまらない。イノベーターに求められるのは一段高い視点から社会システムそのものを変革することである。ルールをつくりながらビジネスを成長させていく—その意味と方法を論ずる。「マーケット」を超えた社会と企業の関係についての新しい世界像とそのビジネス上の意味を学んでほしい。</p> <p>2. イノベーションを事業化するにあたって必要なビジネスモデルについて、理解を深める。世界共通に使われている「ビジネスモデルキャンバス」を活用して、イノベーションをビジネスモデルに転換する共通言語を学ぶ。</p>		
課題図書	『世界市場で勝つルールメイキング戦略』 國分俊史、福田峰之ほか（著）／朝日新聞出版社		
推薦図書	『ビジネスモデルキャンバス』 アレックス・オスターワルダー他（著）／翔泳社 『競争戦略としてのグローバルルール』 藤井敏彦（著）／東洋経済新報社		
1日目	<b>A M</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ルールメイキング戦略の概要、意義、実践例</li> <li>●グローバル戦略と日本企業の課題</li> </ul>	<b>P M</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●◆ビジネスモデルキャンバスの概要と演習</li> </ul>	

この回は知識リーダーシップ総合研究所主催オープンユニバーシティとの共同開催となります

## Session3

### 社会課題の解決に取り組んでいる現地でイノベーターシップを考える

※下記予定は若干、変更となる場合があります。

担当講師	2019年度版事例		佐藤 勝彦
講座概要	<p>これまでの会社を中心とした市場経済や社会構造が制度疲労を起こし、その時々の手直しでは、限界が来ている。NPOやNGOに代表されるような非営利法人や柔らかな組織、コミュニティが新しい視点、価値軸で社会課題の解決に取り組み、大きな成果を出してきている。</p> <p>本セッションでは、いくつかのNPOを実際の現場で訪ね、その活動を確認、取り組んでいるリーダーとのディスカッションを通して、社会における企業の役割そしてイノベーターシップとは何かをじっくり考えたい。</p>		
課題図書	『日本の革新者たち-100人の未来創造と地方創生への挑戦』 齊藤義明著、ビー・エヌ・エヌ新社		
1日目	<b>A M</b> ≪薬樹ウィル株式会社へ訪問 神奈川県大和市≫ ●講演 ■ 障がい者スタッフとともに白衣たたみ作業	<b>P M</b> ≪昼食&みんな電力株式会社へ訪問 三軒茶屋≫ ●講演 ◆ディスカッション: 発電所コンペ	
<p><b>■薬樹ウィル株式会社</b>                  ※障がい者雇用・生活を含めた自立支援                  地球や人とのつながり、多様性の享受、公正なしくみの実現へ向け、具体的な社会課題として「障がい者雇用の推進と自立支援」を掲げ、健康な社会へ向け、この社会課題解決を推進・牽引する事業を行っている。（クリーニング、コピー用紙裁断、社内物流支援、ICT支援、顧客向けサービス支援など）</p> <p><b>■みんな電力株式会社</b>                  ※再生可能エネルギーをお主な電力源とした「顔の見える電力」を販売                  ※ブロックチェーンを活用し、これまで見えないものだった電力のトレサビリティを実現                  電気の生産者と消費者をつなぐ日本唯一のサービス。みんな電力の電気を購入することで、再生可能エネルギーを応援。再生可能エネルギーで発電したFIT電気を積極的に仕入れることで、国内トップクラスのFIT電気比率を達成。</p>			



## Session4

## テクノロジーイノベーション経営の現在と未来

担当講師	<b>栗山 実</b>	
講座概要	<p>「30年後」を議論の題材として扱うことで、事業環境がイノベーションによって大きく変わる未来を見通し、新しい時代への道筋を作るリーダーたるための俯瞰的視座を得ることを目指す。特に20世紀以来の情報技術革命やAI等の最新技術を踏まえ、次世代の産業を生み出す競争に勝ち残るための長期戦略の手がかりを採求する。</p> <p>そうした未来の視点をデータ時代のイノベーション経営にどう生かすのか、テックスタートアップ流のマネジメントをどう大企業で応用できるのかを検討する。</p>	
課題図書	『HARD THINGS』ベン・ホロウィッツ著、日経BP社	
推薦図書	『ゼロ・トゥ・ワン』ピーター・ティール著、NHK出版	
1日目	<b>A M</b>	<b>P M</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●イノベーションによる産業転換の速度、過去と未来</li> <li>●◆「30年後」の未来を見通す企業戦略を描く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スタートアップ的経営手法（デザイン思考的な発想、フェーズ別の資金調達手法、破壊的イノベーションの狙い方など）</li> </ul>
2日目	<b>A M</b>	<b>P M</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テックスタートアップがイノベーションを支配する時代</li> <li>●スタートアップ経営の基礎</li> <li>◆破壊的イノベーションを狙う事業構想の作り方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スタートアップ経営の人材論</li> <li>◆イノベーション人材の大企業での育成、活用</li> </ul>

## Session5

## 公共哲学とオーセンティックリーダーシップ

担当講師	小林正弥 / 徳岡晃一郎	
講座概要	<p>1. どのような未来社会を創造していくのか、どのような哲学を持って、正義を定義していくのか。イノベーターシップの根幹に据えなくてはならないリーダーとしての公共善とはなに可。またそれを具体化し、共有していく対話法について学ぶ。</p> <p>2. 論理分析過多、数値管理過多、コンプライアンス過多に陥って、人間性を忘れた経営が多くなっている昨今、今一度、人間本来の内なるモチベーションを呼び起こすマネジメントが求められている。特にイノベーションを起こす時に必要になる、未来社会を創造するリーダーの熱い「思い (Belief)」をいかに育て、社員の心に火をつけるか、そのマネジメントを学ぶ。</p>	
課題図書	『 MBB: 「思い」 のマネジメント 実践ハンドブック: 社員が「思い」 を持てれば組織は強くなる』 徳岡晃一郎 (著) / 東洋経済新報社	
推薦図書	『 WHYから始めよ!』 サイモン・シネック (著) / 日本経済新聞出版社	
1日目	<b>A M</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 哲学の系譜と美德の哲学</li> <li>● 公共善、美德とポジティブ心理学</li> <li>◆ 社会課題への対話型アプローチ</li> </ul>	<b>P M</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の思いを振り返る</li> <li>■ セルフコーチング / ストーリーテリング</li> <li>◆ 思いのピラミッド</li> </ul>

この回は知識リーダーシップ総合研究所主催オープンユニバーシティとの共同開催となります

## Session6

- (1) 「リーダーシップ・コミュニケーション」  
- イノベーターシップを起動し、知を共創するカー
- (2) 「イノベーターシップ実践に向けてアクションプラン  
を考える」

担当講師	<b>佐藤 勝彦 / 徳岡 晃一郎</b>	
講座概要	<p>よりダイナミックなイノベーションを起こすには、ますます進むグローバル化の波を利用して、多様な価値観を持つステークホルダーをひきつけ、知を共創するチームにまとめ上げていくコミュニケーション力が不可欠であり、イノベーターシップの基盤である。</p> <p>しかし、残念ながらその育成の重要性が認識されていないし、その育成方法も十分とは言い難い。世界のリーディングコミュニケーションコンサルティング会社であるフライシュマンヒラードの豊富な経験と知識、技法でコミュニケーションの本質とは何かを問いながらイノベーターとしての実践的コミュニケーション力を演習を通じて身に着ける。</p> <p>2日目の最終日には、これまでの研修での学びを振り返り、「自社でイノベーターシップ風土をどう形成するか」「自身、自部門で具体的にどうアクションをとっていくのか」を各自が発表する。また、発表内容に対して討議を行い、それぞれのアクションプランのブラッシュアップをする。</p>	
1日目	<b>A M</b>	<b>P M</b>
2日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リーダーアズコミュニケーター、コミュニケーションとは何か？ 編集力を磨く</li> <li>■ エレベータートーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーチ分析</li> <li>◆ 分析発表</li> <li>■ 経営方針原稿作成</li> <li>■ 同発表</li> <li>◆ 評価</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題発表：イノベーターシップ風土を創る、アクション表明</li> <li>◆ 上記発表に対してグループ討議、全体討議</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全セッションの振り返り</li> <li>◆ これからどういふActionをとっていくのか</li> <li>■ パネルディスカッション：徳岡×佐藤</li> </ul> <p style="text-align: right;">〈最終日終了後懇親会を予定しています〉</p>

### イノベーターシップ

①このセッションでの一番の気づきとして感じたのは、今まではマネジメントとリーダーシップという観点でしか物事を見ていなかったがイノベーターシップという概念が出てきたことが大きな気づきだった。また、「イノベーターシップの5つの力」を学んで自分の強みと弱みがはっきりと理解できて良かった。今後、強みをどう継続していくかと弱みをどのように克服していくかを考えていきたいと思う。

②具体的な事例として、進出の背景やフェーズといった流れも噛み砕いて説明頂いて、興味を持ちやすく分かりやすかった。ディスカッションの場面でも各社の置かれている状況、進出の段階が異なり、同じ言葉でも捉え方が異なっており、その差を議論する中でも理解が深まった。  
また、一言「グローバル」といっても、必ずしも海外へ拠点展開するケースのみでなく、国内にいても人材の確保においても国際的な競争という状況になりつつあり、国内比率の高い企業としても考えさせられた。

### 30年後の世界

「30年後を考える」 = 「いま起きている技術革新」の産業や社会への波及経路を考えると教わり、イノベーションを考えるのは、R&D部門の技術屋だけでなく、事務屋も技術を勉強していかないと、との感を強くした。セッションの演習は十分こなせなかったが、一番「目からウロコ」のセッションだった。

## 5 - 2. 参加者の感想 (抜粋)

### 思いのマネジメント

①価値観が最も合致したセッションの一つです。“思いのピラミッド”は、即時、職場にて実施しました。一部の部員より、“部長がこんな事を考えていたのか…理解”との声も聞いています。部員との共創に向けた、思いの共有の為、今後も継続したい術です。また、“自分に対するリーダーシップ”この言葉は永続的に大切にしたい。思いのピラミッドは（皆の意見は聞いた上で）自分が紡ぎ、語るもの。リーダーの責任と使える言葉を磨く重要性を理解できました。

②講義や演習で思いのピラミッドを作ってみて、何かを実現したいという自己の思いが十分具体化できておらず、また自分の思いを部下に伝える努力も不十分だったと感じました。組織や部下を預かる社会人として、出来ていないことが多く、自己の思いを伝えること、それを理解してもらうための人間的な魅力（教養や、レトリック）を高める努力が必要と感じました。自己の思いや行動を通じて、信頼し合えるチームを作っていきたいと思います。

### 全般

①毎回のsessionでのグループ討議、パネルディスカッションは非常に有意義であり、session6での『イノベーション創出に向けて』の討議は、今までの講義の集大成を課題にしたものであったと思います。自分の会社のイノベーターシップ風土の形成についてディスカッションしましたが、やはり既に形成の風土を意識した会社の方もいれば、私の会社の様にその意識すら見受けられない会社もあり、我々がその発信源となり、上層部が理解するかが大きな鍵となるでしょう。イノベーターシップ形成風土があれば、イノベーションの可能性の素質はある企業と世間では見るのではないのでしょうか。

## 6. 費用

項目	おひとり	備考
研修費	600,000	
二人以上の場合	500,000	

### <その他>

- 消費税は別途となります。
- 含まれるもの
  - テキスト代、課題図書代
- 含まれないもの
  - 交通費、食費等、懇親会経費など。



# 7. 会場案内

## 会場

### 多摩大学大学院 (品川サテライト)

〒108-0075

東京都港区港南2-14-14

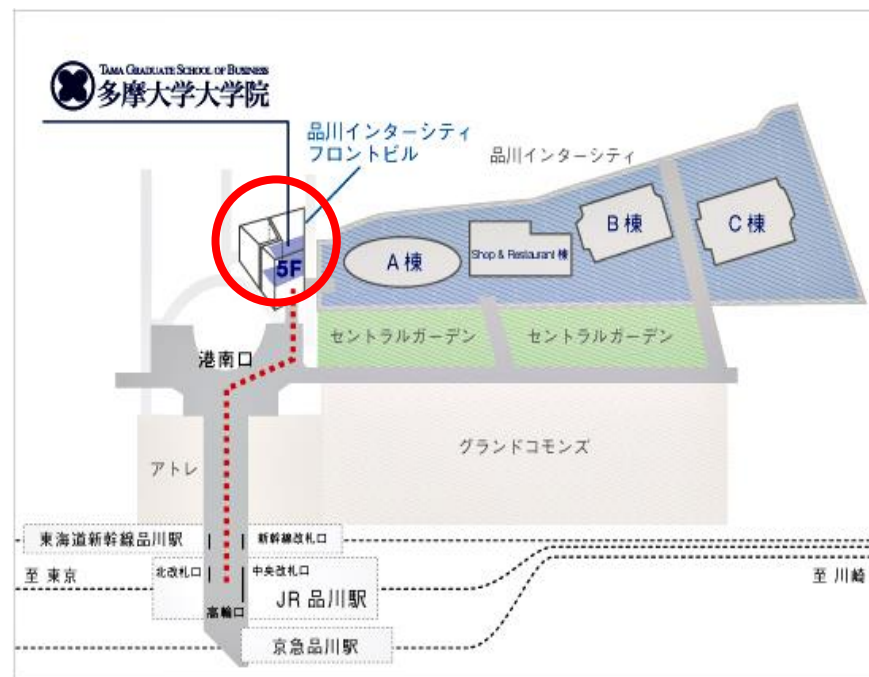
品川インターシティフロント5階

TEL 03-5769-4170(代) FAX 03-5769-4173

## アクセス

### 電車(JR在来線・新幹線および京急)でお越しの方

- (1) JR及び京急で「品川駅」下車。  
港南口出口へお進みください。
- (2) 港南口を出ますと、そのまま品川インターシティに  
続く歩道橋があります。
- (3) 正面、品川インターシティフロントビルに入り、  
エレベーターで5階にあがってください。





人生100年、80歳現役の時代を豊かに生き抜く  
「生き方改革」をサポート

**株式会社ライフシフト**

東京都港区高輪3丁目23-17  
品川センタービルディング703

TEL 03-6456-2912 (代)  
URL <https://life-shift.net/>